

# 事例から理解する内部監査の指摘事項と 改善提案のスタンダード

「内部監査実務マスター・コース」〔第5回開催分（全9会合）〕

- 日 時 ● 2017年1月17日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザリー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラック株式会社監査役/ABボルボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

## ●プログラム●

### ●講義／事例から理解する内部監査の指摘事項と改善提案のスタンダード <14:00 -16:00>

内部監査の価値を決定づけるのは、いかに経営に役立つ報告書を書けるか、特に指摘事項・改善提案の出来栄です。

今回は業務監査を前提にして指摘事項と改善提案の切り出し方、書式、文章表現など標準例を具体的な事例を提示して各社が体系的なスタンダードを作る材料を提供します。この分野ではIIAその他の実務的な指針がほとんどないこともあって、あまり検討もせずに社内の慣行を踏襲している場合が多く見られます。それだけに見直しの効果は潜在的にきわめて高く、これまで習慣的に続けてきた報告書の書き方を体系的に整理して改善することで目に見える効果が期待できる領域です。

#### 1. 業務監査における指摘・改善提案を導くロジックの組み立てと記載内容

- ・改善提案の3つのパターン、指摘事項に説得力を与える構成要素、リスクの記載要領など

#### 2. 指摘と改善提案の勘どころ — ケーススタディによる事例の検討

### ●講義をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:00 -17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

## ●参加要領●

### ●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

160188	2017 1/17 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			